

2023年 夏号

YouMine(よまいん)⇒あなたと本がつながるための図書館通信です。
小説はもちろん、さまざまなジャンルの本やCDなどの情報をお届けします。

本のとびら

テーマ 勝手に「珍本」&「課題図書」認定！

「あまり知られていない珍しい本のこと」を「珍本」といいます。つまり世間でその存在が知られていない。ほぼ誰も知らない本を指します。ですが、小牛田図書館では勝手に「珍本」の定義を「取り上げているテーマが珍しい&面白い」に変えて、みなさんにおススメな「珍本」を紹介します。

それに加えて、夏休みの宿題の一つでもある読書感想文。もちろん「青少年読書感想文全国コンクール」で指定されている課題図書もありますが、図書館でも学校図書室でも借りられているし、入手困難。そんなお困りのみなさんのために、代わりに読書感想文にオススメする本をピックアップし、勝手に「課題図書」に認定しました。小牛田図書館が勝手に認定した本の数々。中高生のみなさん、先生、お母さん、お父さん、みなみなさま、ぜひご覧ください。

●●第一のテーマ 勝手に「珍本」認定!●●

「ポチっとな。」押しボタンの世界

「押す図鑑ボタン」 西村まさゆき/編・著 小学館 530 ニ

バスにトイレ、自動販売機、火災報知器に、緊急時命を救うのに役立つ AED など。私たちの身の回りには、実にたくさんの押しボタンがあふれています。この本は、ありとあらゆる押しボタンを豊富な写真とわかりやすい解説でディープに紹介。クイズの早押しボタンや、植物や生物のボタンに、アニメやマンガに登場する摩訶不思議なボタン、果ては押しはいけない核のボタンまで、押しボタンのオンパレード。情報てんこ盛りな1冊。同じシリーズで「のぞく図鑑穴」もオススメです♪



あなたのその行為、犯罪かも!?

「まもれる? まもれない? ルールびっくり事典」

こざきゆう/文 カケヒジュン/絵 320 コ

「大統領の許可があれば死人と結婚できる」「ムスツとしたら逮捕」「雪合戦したら逮捕」。この世の中には、われわれの常識の範囲をはるかに超えた法律が存在します。そんな古今東西のブツとんだ法律を教えてくれるのがこの事典。「図書館で借りた本を返却期限から5日過ぎて返さない」と1か月の禁固刑」という法律がある国もあります。みなさん本のみならず、借りたモノはきちんと返しましょうね♪



裏面に続きます➡

「めんどくさい」は発明の母？

「めんどくさい図鑑～すべての成功はめんどくさいから始まった！？～」

小学館クリエイティブ/編著 507 メ

家のお手伝いや、試験前の勉強、休みの日の部活など、みなさんは心の底から「めんどくさい」って思ったことありますよね。ド●エモんの「どこでもドア」「ほんやくコンニャク」「暗記パン」欲しいですよね。そんなめんどくさがり屋のみなさん！この世には、底抜けの「めんどくさい」っていう気持ちを自分の糧として大成功した人がいます。そんな偉大なめんどくさがり屋たちの発明のエピソードを紹介してくれるのがこの図鑑。みなさんの「めんどくさい」気持ちが、新たな発明品を生み出す第一歩かもしれないですよ。



これぞ現代の悟りの境地

「お寺の掲示板 諸法無我」 江田智昭/著 新潮社 180.4 エ



部活の遠征や、お出かけのときなど、車窓からボーっと外を眺めると、たまに目にするお寺の門前にある掲示板の文字。そこには仏教の教えやご住職のありがたい言葉が書かれています。この本にはご住職のごもったもな言葉「隣のレジは早い」や「ご先祖になるまでが人生です」や、有名なあのドラマの名台詞をモジった「やられてもやり返さない仏教だ」など、クスリとするけれど「その通り！」と納得できる掲示板の悟りワードをめいいっぱい紹介しています。ぜひご覧ください。



かわいい世界初の図鑑

「世界初の魚の顔図鑑 うおづら」 森岡篤/著 大和書房 666.9 モ

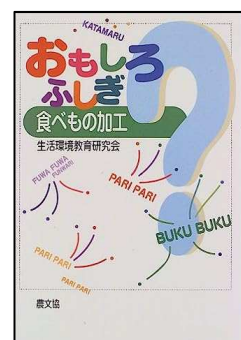
ランチュウにピンポンパール、ミドリフグ、デンキナマズなど、「魚たちを正面から撮影した顔写真」=「うおづら」の図鑑。「オラオラ系うおづら」「美人うおづら」「イケメンうおづら」「癒しのうおづら」など、152種類のうおづらを紹介。ページをめくるたびに魚たちのかわいい顔にキュンキュンしちゃいます。幼い頃から魚が大好き。好きが高じて水族館勤務しながらも、水中カメラマンとしても活躍する著者が行きついた、世界初の魚の顔図鑑。みんなハマっちゃうかも！



「そぞるぜ！」食品加工

「おもしろふしぎ 食べものの加工」 生活環境教育研究会/著 農文協 588 セ

わたしたちが口にする加工食品と言えば、古くから伝わる納豆や塩辛、グミやキャンディなど新しい食品がありますよね。この本は、食品を作るにあたって、どうして液体が固まるのか？なぜふんわり膨らむのか？など食品加工を科学的に解説。また人造イクラ、生麩に炭酸サイダーにカルメ焼き、きなこ、おせんべいなど、たくさんの加工食品の作り方が書かれています。家でも、文化祭や自由研究、調べ学習でも活用できる1冊。ぜひお試しください。



この本で家族円満♪

「絶滅危惧動作図鑑」 藪本晶子/著 祥伝社 049 ヤ

時代とともに、使う道具が変われば、動作が変わっていく…写真を取る動作、お金を支払う動作など全部指1本で済ませることができる今、みなさんのお父さんお母さん、お祖父さん、お祖母さんの生活の動作は、絶滅の危機に瀕しています。そんな動作のあれこれを教えてくれるのがこの図鑑。例えば「小指立てる動作=恋人(彼女)」「ひざをついて、片手でつまみを回す動作=テレビのチャンネルを回す」など、知らなくても困らないけれども、知ったら家族で過ごす時間が豊かで楽しくなるかも！？家族でジェスチャーゲームや、回し読みする家読(うちどく)にもオススメです。



安心して下さい！写ってますから。

「超常現象・心霊写真」 橘伊津姫/著 下田麻美/イラスト 汐文社 147 夕

この世の中で、科学で証明されないものって存在しない？いえいえ存在します。超能力、UMA、超常現象だって、神様だって、現在の科学では解明されていませんよね。この本には、背中をゾクゾクさせる怖～い心霊写真、呪い、七不思議、現代に伝わる伝説など、非科学的な真実を紹介。不可思議怪異な異世界へあなたをいざなってくれます。

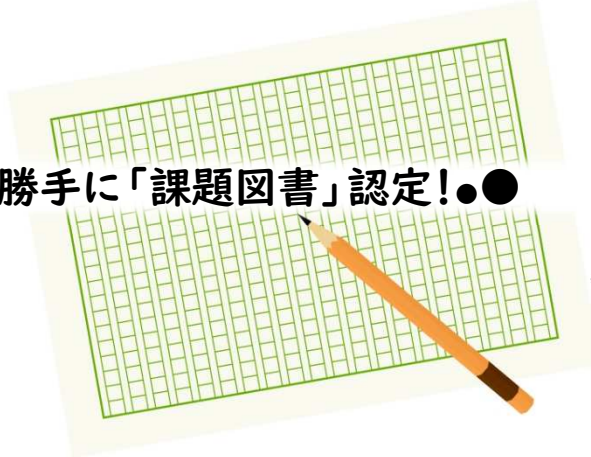


「かくれん部(ぼ)」 かくれん部探検隊/著 アスペクト 481.7 カ

キレイなお花にソックリな虫やヘビ、枝にソックリな虫、樹皮にソックリな鳥などなど、動物たちの弱肉強食な世界で生き延びるための行為である「擬態」。彼らの姿はまるで、危機迫るときにドロロンと姿を消す忍者のよう・・・そんな忍術を使うのが得意な生徒(動物)を集めたのが部活動「かくれん部」。この本は部員(動物)たちの活動の様子が豊富な写真でおさめられています。どこに隠れているのかわからない部員たち。みなさん、探してみてください。



●●第2のテーマ 勝手に「課題図書」認定!●●



繰り返してはいけない歴史

「収容所(ラーゲリ)からきた遺書」 辺見じゅん/著 文芸春秋 916 へ

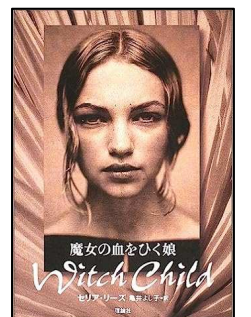
今年で終戦から78年。世界をまきこんだ戦争は、多くの尊い命を奪いました。日本は1945年8月に終戦を迎えますが、兵士や民間人のなかには、ソ連(ロシア)の収容所に連行され、長い間、極寒と飢えと重労働という苛酷な状況を強いられた日本人が数多くいます。その後帰国した方もいますが、多くの方が帰国を望みながらも、命を落としました。この本に登場する山本さんもその一人。この本には、山本さんが悲慘な状況下でも希望を持ち、仲間たちを支えた様子が語られています。また、彼が亡くなる前に家族へ書いた遺言書は、ソ連兵に没収されてしまいましたが、長い時を経て彼を慕う仲間から、驚きの方法で山本さんの家族のもとへと届けられます。仲間との絆、家族への愛、そして希望、涙があふれてとまらない実話です。



信じられない物語!

「魔女の血をひく娘」 セリア・リーズ/著 亀井よし子/訳 理論社 933 リ

天候や害虫による農作物の被害、まん延する病気など、対処方法がない中世ヨーロッパにおいて、その原因は魔女が引き起こしたとされました。多くの女性たちが捕まり、拷問でウソの自白を強要され、処刑されました。この物語の主人公のメアリーは、お祖母さんが魔女として捕まり、拷問で命を落とします。メアリーは魔女の血をひく者として、迫害され、そこから逃れるために、新大陸を目指すのですが、そこでも数々の試練に襲われます。キルトに縫い込まれた少女の日記です。



おめでとうございます！抽選に当たりました。

「カラフル」 森絵都/著 理論社 Fモ

死んだはずの主人公の「ぼく」。大きな過ちを犯したため、生まれ変わることができない「ぼく」の魂が、天使によって一定期間だれかの体を借りて修行し、生まれ変わるチャンスが与えられる！「ぼく」の魂のステイ先は、自殺を図った少年小林真。目を開いた「ぼく」=小林真に家族は大喜びするのだけれども、家族にはそれぞれ誰にも言えない秘密があって。ヤボツたいヘアスタイルを変え、流行りのスニーカーに変えイメチェンし、自分の居場所づくりに奔走する「ぼく」。衝撃のラストにビックリ！最後まで目が離せません。



これぞ the 青春！

「成瀬は天下を取りに行く」 宮島未奈/著 新潮社 Fミ

勉強もスポーツも万能。なんでもひとりでこなせちゃう、中2の女の子 成瀬あかり。突飛な行動で、周囲から浮いていても、ひたすらマイペース、まったくぐれない。コロナ禍のあおりを受けて、もうじき閉店を迎えるデパートに毎日通い、地元のローカル番組に映ってみたい、丸坊主で高校に通ったり、市民憲章を暗記してみたり、幼馴染といっしょに M-1 を目指したりと、いつも何かに全力で挑んでいる。そんなゴーイングマイウェイな成瀬に、きっとみんな目が離せないはず。変わっているけれどカッコイイ、成瀬の痛快青春ストーリーです。



世界的な名作。

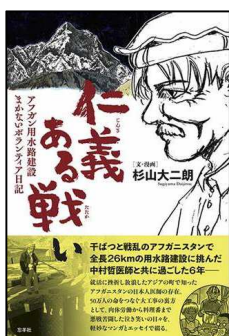
「赤毛のアン」 モンゴメリ/著 村岡花子/訳 新潮社 B933 モ

マッシュとマリラの老兄妹は、働き手が欲しくて孤児院から、男の子を養子にしようと考えていました。でもちょっとした手違いから、二人の元にきたのは、やせっぽっちの赤毛の女の子アン。老兄妹はアンを孤児院へ返すつもりでいましたが、あることからアンを引き取ることにします。想像力豊かでおしゃべり好きな女の子アン。彼女が巻き起こす事件と、周囲の人と生まれる絆。美しいカナダのプリンスエドワード島を舞台にしたアンの成長物語です。



人生はチャレンジの連続！

「仁義ある戦い～アフガン用水路建設まかないボランティア日記」 杉山大二郎/文・漫画 333.8 ス



2019年アフガニスタン(アフガン)で銃弾に倒れた医師 中村哲さん。中村さんは、生前、砂漠化と飢餓、戦乱にあえぐアフガンの地に水を引き、多くの人々の命を救いました。そんな中村さんをサポートする団体「ペシャワールの会」で6年間ワーカーとして働いた著者である杉山さん。この本は、アフガンの地で、用水路建設の裏方として、肉体労働と料理番として過ごした杉山さんの悪戦苦闘な日々や、杉山さんの目から見た中村さんの姿が、豊富な漫画とわかりやすい文章で描かれています。

ほんの一部を紹介。
まだまだたくさんあるよ。
どの本を選ぶのか悩む場合は、図書館の人に声をかけてね。

「僕はアメリカを学んだ」 鎌田遵/著 岩波書店 Y295 力

落ちこぼれな高校生のぼく(鎌田さん)は、夏休み親に内緒で6万円を持って、日本を脱出。英語が話せない、たったひとりのノープランな旅。ユーラシア大陸を縦断し目指す先は、バルトガルのリスボン。さまざまな国や民族を見た鎌田さん。次に目指した地はアメリカ。そこで目にしたのは、激しい差別でした。この本には、アメリカの先住民族研究をする鎌田さんの見た世界が綴られています。

